

11 番 (小川義昭君)

さて、ことし最後の議会も大詰めに近づいてまいりました。久しぶりに、千代女の句を一句披露いたします。

山のすそ 野の裾むすぶ 清水かな

山のすそ 野の裾むすぶ 清水かな

加賀平野の中に見事な扇状地を育んだ手取川は、白山を源とするとうとうたる流れが緩やかな蛇行を見せながら、実り豊かな穀倉地帯をもたらしました。この流域で暮らす私たちにとり、白山の遠景とともに、一幅の絵画のような美しさを見せる手取川は、文字どおり母なる川と言ってよく、白山市にとっては、かけがえのない自然遺産と言っても過言ではありません。

自然界も人の世も、有為転変の歳月を重ねていく定めなのでありましょうが、とりわけことしは、豪雨などによる河川の氾濫が全国で相次いだ1年でありました。ですから、来年こそはこの千代女の句のように、心穏やかで平穏無事な年となりますよう切に願ひまして、私の一般質問を終わります。